

## 大会プログラム 3月16日(土)

### 【第1会場】(7号館小川講堂)

- 12:00~12:05 開会のあいさつ
- 12:05~12:35 大会長講演  
医療・ケアの基盤としての臨床倫理  
演者: 竹下 啓(第11回年次大会長)  
座長: 新田 國夫(日本臨床倫理学会理事長)
- 12:40~13:40 基調講演  
生殖医療の倫理を考える ― 今なぜ子どもを守るための公的プラットフォームが必要か ―  
演者: 吉村 泰典(慶應義塾大学名誉教授/福島県立医科大学副学長)  
座長: 竹下 啓(第11回年次大会長・東海大学)
- 13:50~15:20 シンポジウム1: 臨床倫理の教育  
座長: 高野誠一郎(福井赤十字病院)  
稲葉 一人(いなば法律事務所/日本臨床倫理学会副理事長)  
S1-1 法と倫理学者の立場から ― 卒前教育を中心に ―  
演者: 瀬戸山晃一(京都府立医科大学)  
S1-2 卒後における「臨床倫理」教育の現状と課題 ― 卒前教育と対比しながら, 倫理学者の立場より ―  
演者: 板井孝壱郎(宮崎大学)  
S1-3 臨床倫理教育の問題点(病院管理者の立場から)  
演者: 青墳 信之(成田赤十字病院)  
S1-4 介護付きホームにおける倫理的課題と取り組み  
演者: 小峯 一城(株式会社アライブメディケア)
- 15:30~17:00 シンポジウム2: Advance Care Planning(ACP)の来し方行く末  
座長: 三浦 靖彦(岩手保健医療大学)  
宮下 淳(福島県立医科大学)  
S2-1 ACPの歴史的経緯とエビデンスを踏まえた論点整理  
演者: 森 雅紀(聖隷三方原病院)  
S2-2 日本版ACPの定義と行動指針  
演者: 宮下 淳(福島県立医科大学)  
S2-3 患者の権利としてのACP  
演者: 稲葉 一人(いなば法律事務所/日本臨床倫理学会副理事長)  
S2-4 「ACPを実践する」とはどういうことなのか  
演者: 足立 大樹(ホームケアクリニック横浜港南)

## 【第2会場】(第3教育棟3階・301教室)

13:50~15:20 倫理コンサルテーション A

## 重篤な外国籍患者の倫理的問題

高橋真喜子(名古屋市立大学大学院看護学研究科博士前期課程)

澤田 美和(名古屋市立大学大学院看護学研究科)

明石 恵子(名古屋市立大学大学院看護学研究科)

若山 朋代(名古屋大学医学部附属病院医学研究倫理・臨床倫理推進室)

稲葉 一人(いなば法律事務所)

15:30~17:00 倫理コンサルテーション B

## 南砺マルモカンファレンス

大浦 誠, 西尾 裕樹(南砺市民病院総合診療科)

野原 良子, 小竹 昌子, 吉澤 環(南砺市民病院看護部)

清水 幸裕(南砺市民病院院長)

關谷 暁子(北陸大学医療保健学部准教授)

石田 瞳(日本大学法学部法学研究所研究員)

## 【第3会場】(第3教育棟4階・401教室)

13:50~15:20 教育講演 1

## 介護職の職業倫理

演者: 石本 淳也(一般社団法人熊本県介護福祉士会／公益社団法人日本介護福祉士会／一般社団法人 KAiGOPRiDE)

座長: 藤島 一郎(浜松市リハビリテーション病院)

15:30~17:00 教育講演 2

## がん・生殖医療と臨床倫理

演者: 鈴木 直(聖マリアンナ医科大学産婦人科学)

座長: 長尾 式子(北里大学看護学部)

## 【第4会場】(第3教育棟5階・501・502教室)

10:30~11:00 評議員会

13:50~15:20 一般演題 1 倫理コンサルテーション 1

座長: 永井智恵美(地方独立行政法人栃木県立がんセンター)

O1-1 A病院倫理コンサルテーションの実施とその効果の検討 — フィードバック用紙による倫理カンファレンス後の調査結果から —

演者: 大河 尚子(公立陶生病院)

O1-2 やってみよう! 倫理カンファ — 過去の事例を CECT と振り返る取り組み —

演者: 多川 聖子(奈良県立医科大学附属病院臨床倫理コンサルテーションチーム)

01-3 当院における臨床倫理活動の現況と今後

演者：石井 健(国家公務員共済組合連合会虎の門病院品質管理室・集中治療科)

01-4 臨床倫理コンサルテーションチーム設立を目指した準備チームの取り組み

演者：板橋 悦子(医療法人社団あんしん会四谷メディカルキューブ)

01-5 当院の看護倫理カンファレンスは臨床倫理カンファレンスのきっかけになりうる

演者：セビム朗子(東京都立病院機構東京都立多摩南部地域病院)

01-6 臨床倫理推進体制の見直し ― 倫理的問題の顕在化に向けた医療安全とのタッグ体制と既存のインシデントレポート報告システムを活用したモヤモヤ報告の構築 ―

演者：永井智恵美(地方独立行政法人栃木県立がんセンター)

15:30~17:00 一般演題3 倫理コンサルテーション2

座長：楠瀬まゆみ(理化学研究所)

03-1 危機支援が重要であると考えられた透析中止の申し入れの1例

演者：宮部 浩道(社会医療法人大雄会総合大雄会病院)

03-2 当院における臨床倫理チーム活動報告(第2報)

演者：藤田 浩(東京都立墨東病院輸血科)

03-3 当院職員の臨床倫理コンサルテーションチーム活動に対する認識

演者：中田 裕子(松山赤十字病院)

03-4 九州大学病院における倫理コンサルテーションの現状と課題 ― 倫理コンサルテーションチーム活動を通して ―

演者：室岡 明美(九州大学病院患者相談支援室)

03-5 当院における臨床倫理コンサルテーションチームの活動報告

演者：宮原 直美(総合大雄会病院)

03-6 急性期病院における整形外科手術の妥当性と患者の自律性の尊重との対立に難渋し多職種による臨床倫理コンサルティングチームによる介入を行った一例

演者：深田 陽子(独立行政法人国立病院機構別府医療センター糖尿病・内分泌内科)

【第5会場】(第3教育棟6階・601・602教室)

13:50~15:20 一般演題2 人生の最終段階における医療・ケア

座長：金沢 英哲(Swallowish Clinic)

02-1 代理意思決定における家族間の意見の不一致に対する倫理的アプローチ

演者：松石由美子(リアンドファミリー訪問看護ステーション)

- 02-2 医療ケアチームによる人生の最終段階の決定プロセスにおける支援内容の実態を明らかにするための質問紙の作成  
演者：山崎みつ江(小川赤十字病院／埼玉医科大学大学院)
- 02-3 精神科病院でその人らしい人生の最終段階を迎えるための意思決定支援システムの再構築 — 終末期の医療の意思決定・DNARを中心に —  
演者：後藤 優子(医療法人社団碧水会長谷川病院看護部 CNS 室)
- 02-4 患者の望む生活を選択していくための支援について — 軽度精神発達遅滞を有する AYA 世代終末期がん患者への介入を通して —  
演者：梁川 未宇(東海大学医学部附属病院看護部)
- 02-5 摂食嚥下障害患者における倫理的ジレンマに対して臨床倫理コンサルテーションを行なった一例  
演者：松口 隆太(豊田地域医療センター)
- 02-6 嚥下障害の終末期とされる経口摂取に関連した誤嚥または窒息による尊厳死は、安楽死か  
演者：金沢 英哲(Swallowish Clinic)

15 : 30~17 : 00

**一般演題 4 慢性期における医療・ケア**

- 座長：大貫 優子(東海大学医学部)
- 04-1 難治性嚢胞感染と栄養管理に苦慮した常染色体優性遺伝多発性嚢胞腎に対し多職種連携により患者の意向に沿った治療計画を実施した一例  
演者：高橋科那子(北海道大学病院リウマチ・腎臓内科)
- 04-2 適応障害を有した高齢患者の尊厳を支えその人らしさを取り戻す看護 — 家族との協働的パートナーシップを通して —  
演者：田中 日和(東海大学医学部附属病院看護部)
- 04-3 A 病院における身体拘束の現状 — せん妄、認知症アセスメントとの照合による課題の抽出 —  
演者：柏崎 由美(国立大学法人富山大学附属病院)
- 04-4 嚥下障害を有する高次脳機能障害患者の食支援 — 「食べたい」という患者のニーズを叶えるケア —  
演者：荒井多江子(日本私立学校振興・共済事業団東京臨海病院)
- 04-5 重度神経性やせ症患者の救命治療と看取りの境目で看護師が抱いた倫理的葛藤 — 転帰が異なった 2 症例の振り返りから —  
演者：齋藤 朝子(山形大学医学部附属病院看護部)
- 04-6 がん遺伝子パネル検査受検患者の認識分析  
演者：大貫 優子(東海大学医学部基盤診療学系医療倫理学)

17 : 20~

**情報交換会**

## 大会プログラム 3月17日(日)

### 【第1会場】(7号館小川講堂)

9:00~10:30 シンポジウム3

〈ワーキンググループ〉 高齢者の慢性疾患における緩和ケアを考える

座長：箕岡 真子(箕岡医院／日本臨床倫理学会総務担当理事)

稲葉 一人(いなば法律事務所／日本臨床倫理学会副理事長)

S3/趣旨説明

QOL向上を目指す包括的ケア —ホスピスケアから緩和ケアへ、そして、その先へ—

演者：箕岡 真子(箕岡医院／日本臨床倫理学会総務担当理事)

S3-1 緩和ケア新時代 — 臨床倫理をキーワードに慢性腎不全と排尿不全の緩和ケアを考える —

演者：森山 学(金沢医科大学氷見市民病院)

S3-2 呼吸器疾患の緩和ケア 「息が苦しい」とはどういうことなのか

演者：鈴木 聡(石巻赤十字病院)

S3-3 緩和ケアの現状と将来の展望 — 心疾患の緩和ケアの取材を通じて —

演者：三和 護(日経メディカル)

S3-4 まとめ

演者：稲葉 一人(いなば法律事務所／日本臨床倫理学会副理事長)

10:40~12:10 シンポジウム4

在宅医療と介護施設における臨床倫理支援を探る

座長：武 ユカリ(森ノ宮医療大学)

堂圃 俊彦(静岡大学)

S4-1 専門性の異なる看護職と介護職が協働する介護現場で「臨床倫理」が担う役割 — 両職の専門性を活かし合い「利用者の望む対応(介護)」を実践するには —

演者：中村 裕子(株式会社日本ヒューマンヘルスケア研究所)

S4-2 在宅医療と介護施設における臨床倫理支援の可能性と課題

演者：堂圃 俊彦(静岡大学)

S4-3 在宅ケアの利用者と援助職双方の尊厳を守る — 暴力・ハラスメント対策の現状から —

演者：武 ユカリ(森ノ宮医療大学)

S4-4 介護現場における倫理的課題のリアル

演者：石本 淳也(一般社団法人熊本県介護福祉士会／公益社団法人日本介護福祉士会／一般社団法人 KAiGOPRiDE)

- S4-5 在宅医療と介護施設における倫理と法  
 演者：若山 朋代(名古屋大学)
- 12：20～13：20 ランチタイムセミナー  
 緩和ケア医がステージⅣの大腸がんになって見えてきたこと  
 演者：山崎 章郎(医療法人社団悠翔会ケアタウン小平クリニック名誉院長)  
 座長：新田 國夫(日本臨床倫理学会理事長)
- 13：30～14：00 総会
- 14：10～15：40 シンポジウム 5  
 病院機能評価に向けた取り組みから広げる臨床倫理支援  
 座長：金田浩由紀(関西医科大学)  
 川崎志保理(順天堂大学／日本臨床倫理学会渉外担当理事)
- S5-1 南砺市民病院の取り組み  
 演者：清水 幸裕(南砺市民病院)
- S5-2 手稲溪仁会病院の取り組み  
 演者：山田 陽(札幌西円山病院)
- S5-3 小児専門施設で評価された臨床倫理と今後の課題  
 演者：加藤美穂子(あいち小児保健医療総合センター)
- S5-4 臨床倫理支援への取り組み  
 演者：大久保典子(下関市立市民病院・やました整形外科クリニック)
- S5-5 慶應義塾大学病院の取り組み  
 演者：市川 二葉(慶應義塾大学病院)
- 15：50～17：20 シンポジウム 6  
 臨床倫理コンサルテーションのこれまでと、これから  
 座長：瀧本 禎之(東京大学)  
 楠瀬まゆみ(理化学研究所)
- S6-1 臨床倫理コンサルテーションの概念を整理する  
 演者：楠瀬まゆみ(理化学研究所)
- S6-2 病院における臨床倫理コンサルテーションの実践  
 演者：野口 善令(豊田地域医療センター)
- S6-3 地域における臨床倫理コンサルテーションの実践  
 演者：松村 優子(京都市立病院)
- S6-4 専門部署における臨床倫理コンサルテーション  
 演者：新井 奈々(東京大学医学部附属病院)
- S6-5 患者の立場から臨床倫理支援に望むこと  
 演者：宿野部武志(一般社団法人ピーペック)
- 17：20～17：30 閉会のあいさつ

**【第2会場】(第3教育棟3階・301教室)**

- 9:00~10:30 倫理コンサルテーション C  
前医でDNARを取得された高齢で身寄りがなく、意思決定能力が不明な患者の侵襲的な検査や治療の是非  
横浜労災病院倫理コンサルテーションチーム  
中山 貴博, 藤本 潤一, 小泉 泰彦, 周藤 高, 宇田 淳子,  
行谷 貴美, 古都美智子, 大椛裕美, 目黒 りう, 山野 惣平, 楠瀬まゆみ,  
三上 容司
- 10:40~12:10 倫理コンサルテーション D  
ジレンマ・メソッドを用いた事例検討  
国立国際医療研究センター病院臨床倫理委員会  
清水千佳子, 中山 照雄
- 12:20~13:20 ランチタイムセミナー(小川講堂から配信)  
緩和ケア医がステージⅣの大腸がんになって見えてきたこと  
演者: 山崎 章郎(医療法人社団悠翔会ケアタウン小平クリニック名誉院長)  
座長: 新田 國夫(日本臨床倫理学会理事長)
- 14:10~15:40 倫理コンサルテーション E  
透析継続中止を希望する患者への対応に苦慮した事例  
丁寧な対話の基本を演じる: 倫理ファシリテーションアプローチ  
日本臨床倫理学会上級委員会タスクフォース 倫理ファシリテーション WG  
松村 優子, 明石 恵子, 永井智恵美  
山内 典子, 日向 園恵, 三浦由佳里  
稲葉 一人

**【第3会場】(第3教育棟4階・401教室)**

- 9:00~10:30 教育講演 3  
臨床倫理 Year-in-Review  
Year in Review — Clinical Ethics に関する海外論文の動向と論文紹介  
(2022~2023年) —  
演者: 長尾 式子(北里大学)  
2023, 2022年の臨床倫理に関する国内論文の動向  
演者: 實金 栄(岡山県立大学)  
座長: 板井孝壺郎(宮崎大学)
- 10:40~12:10 教育講演 4  
ゲノム医療法をめぐって医療・ケア提供者に伝えたいこと  
演者: 武藤 香織(東京大学医科学研究所/理化学研究所)  
天野 慎介(グループ・ネクサス・ジャパン/全国がん患者団体連合会)  
座長: 竹下 啓(第11回年次大会長・東海大学)

- 12 : 20~13 : 20    ランチタイムセミナー(小川講堂から配信)  
 緩和ケア医がステージⅣの大腸がんになって見えてきたこと  
 演者：山崎 章郎(医療法人社団悠翔会ケアタウン小平クリニック名誉院長)  
 座長：新田 國夫(日本臨床倫理学会理事長)
- 14 : 10~15 : 40    教育講演 5  
 脳死下臓器提供をめぐる今日の課題  
 演者：有賀 徹(独立行政法人労働者健康安全機構)  
 座長：三上 容司(横浜労災病院)
- 15 : 50~17 : 20    教育講演 6  
 「重篤な疾患を持つ子どもの医療をめぐる話し合いのガイドライン」と臨床倫理  
 演者：加部 一彦(埼玉医科大学総合医療センター新生児科)  
 座長：川崎志保理(順天堂大学／日本臨床倫理学会渉外担当事務)

**【第4会場】(第3教育棟5階・501・502教室)**

- 9 : 00~10 : 30    一般演題 5 倫理コンサルテーション 3  
 座長：古結 敦士(大阪大学)  
 05-1 精神科病院における臨床倫理コンサルテーション  
 演者：日笠 朋子(公益財団法人慈圭会 慈圭病院)  
 05-2 臨床倫理コンサルテーションチーム5年目までの活動と課題  
 演者：浜谷千枝子(白十字病院看護部)  
 05-3 A病院における臨床倫理コンサルテーションチームの現状と課題  
 演者：是澤 広美(大阪府済生会吹田病院がん診療推進課)  
 05-4 透析治療を拒否する発達障害患者の臨床倫理コンサルテーション  
 演者：光本 保英(大阪府済生会吹田病院消化器内科)  
 05-5 倫理コンサルテーションチーム立ち上げに向けて ― 看護部倫理委員会による倫理活動の活性化 ―  
 演者：村田 智春(京都山城総合医療センター)  
 05-6 効果的な臨床倫理コンサルテーションに向けた Proactive ethics consultation の提案  
 演者：古結 敦士(大阪大学大学院医学系研究科医の倫理と公共政策学)
- 10 : 40~12 : 10    一般演題 7 倫理コンサルテーション 4  
 座長：恋水 諄源(京都第二赤十字病院)  
 07-1 緩和ケアチームを母体とした院内臨床倫理コンサルテーションチームのスタートアップ：緩和ケアと臨床倫理の手法の類似性  
 演者：永山 淳(国家公務員共済組合連合会浜の町病院臨床倫理コンサルテーションチーム)  
 07-2 地域中核急性期病院での臨床倫理コンサルテーションの立ち上げと課題  
 演者：丸藤 哲(札幌東徳洲会病院臨床倫理コンサルテーションチーム)



- 07-3 言葉の壁がある患者が維持透析を拒否した事例  
演者：浦家 弥生(医療法人徳洲会札幌東徳洲会病院)
- 07-4 当院倫理コンサルテーションチームの活動と課題  
演者：横山 友美(福井赤十字病院)
- 07-5 当院の倫理コンサルテーションチームの活動報告 ― 結成から2年を振り返る ―  
演者：佐々木仁美(小田原市立病院/学校法人昭和大学)
- 07-6 2023年りんこん研究会活動報告 ― りんこん研, 世界へ ―  
演者：恋水 諄源(京都第二赤十字病院/りんこん研究会)
- 12:20~13:20 ランチタイムセミナー(小川講堂から配信)  
緩和ケア医がステージⅣの大腸がんになって見えてきたこと  
演者：山崎 章郎(医療法人社団悠翔会ケアタウン小平クリニック名誉院長)  
座長：新田 國夫(日本臨床倫理学会理事長)
- 14:10~15:40 一般演題9 倫理コンサルテーション5  
座長：杉谷 篤(同愛会・博愛病院)
- 09-1 当院における医療従事者のモラル・ディストレスの現状  
演者：中山 照雄(国立国際医療研究センター)
- 09-2 急性期病院における直近3年間の倫理コンサルテーションの変遷  
演者：荒木 絢子(医療法人溪仁会手稲溪仁会病院看護部)
- 09-3 当医療センターにおける臨床倫理コンサルテーションチーム活動の現状と課題  
演者：川邊 有希(北播磨総合医療センター看護部)
- 09-4 臨床倫理コンサルテーションチームの結成と活動に関する報告  
演者：蓮見 歩(地方独立行政法人奈良県立病院機構奈良県総合医療センター)
- 09-5 臨床倫理コンサルテーションで初動する看護職の用いているケースコンサルテーション・スキル  
演者：深谷 基裕(愛知医科大学看護学部)
- 09-6 高齢透析患者の退院に際し、事前指示書作成まで到達できた多職種倫理コンサルテーションの経験  
演者：杉谷 篤(同愛会・博愛病院腎臓外科)
- 15:50~17:20 一般演題11 在宅・介護施設における医療・ケア  
座長：武 ユカリ(森ノ宮医療大学)
- 011-1 プロセスを大切に当院臨床倫理カンファレンスの1例  
演者：岡林 由起(特定医療法人同心会遠山病院)
- 011-2 通所リハビリ利用継続の希望が高い筋萎縮性側索硬化症(以下ALS)患者に対し、安全な関わり方を検討し、合意形成を行った事例  
演者：金原 牧恵(浜松市リハビリテーション病院)

- 011-3 訪問看護における医療介護ロボット導入に対する看護師の認識  
演者：伊藤 千晴(人間環境大学看護学部看護学科)
- 011-4 在宅看取りを支えた訪問看護とケアマネジメント多職種との連携 — 最期の時まで“凛として我が意を通された”90年の生涯 —  
演者：淵上 操(ゆうらいふナースステーション)
- 011-5 いわゆる「老健」の臨床倫理  
演者：阿部 和也(社会福祉法人黎明会介護老人保健施設けやきの郷)
- 011-6 在宅医療福祉職が体験する臨床倫理的問題と倫理コンサルテーションのニーズ  
演者：武 ユカリ(森ノ宮医療大学)

**【第5会場】(第3教育棟6階・601・602教室)**

**9：00～10：30 一般演題6 臨床倫理教育**

- 座長：尾見 秀子(東海大学医学部附属病院)
- 06-1 医療者の破壊的行動の因果に関する防壁モデル  
演者：藤本 学(立命館大学)
- 06-2 地域医療支援病院における主任看護師への倫理教育の取り組み  
演者：佐藤 清美(国家公務員共済組合連合会横浜南共済病院)
- 06-3 倫理コーディネーター養成研修制度の導入と今後の課題  
演者：高野 智早(福井大学医学部附属病院)
- 06-4 A病院における看護師の倫理的問題に対する認識と対処行動  
演者：西脇 可織(小牧市民病院看護局)
- 06-5 院内の臨床倫理のレベルを高めるために — 当院での4年間の活動報告 —  
演者：河合 皓太(富山大学上市・地域医療支援学講座)
- 06-6 臨床倫理月例会を通してDNARについて向かい合う  
演者：瀧川千鶴子(KKR札幌医療センター)

**10：40～12：10 一般演題8 小児・周産期における医療・ケア，急性期における医療・ケア**

- 座長：加藤美穂子(あいち小児保健医療総合センター)
- 08-1 重症先天性心疾患胎児において出生後の治療に両親の同意が得られないことに関して検討・対応した1事例  
演者：味村 俊樹(自治医科大学医療の質向上・安全推進センター質向上・臨床倫理部門/消化器一般移植外科)
- 08-2 小児医療現場における9歳の壁についての文献検討 — 子どもの医療参加と医学研究参加の実際から —  
演者：大橋 生実(北里大学病院)
- 08-3 看護師の感受性を高め、倫理能力を養う取り組み  
演者：宮本 知佳(日本赤十字社和歌山医療センター)

- 08-4 救急・集中治療領域における医療スタッフの多職種連携協働と倫理的苦悩との関連  
演者：大西 輝幸(堺市立総合医療センター臨床工学科)
- 08-5 外来で激高していた患者夫婦との信頼関係を築ききっかけとなった言葉たち  
演者：渡邊 両治(埼玉石心会病院)
- 08-6 診療におけるインフォームド・アセント文書の現況調査  
演者：運崎 愛(東海大学医学部基盤診療学系医療倫理学)
- 12:20~13:20 ランチタイムセミナー(小川講堂から配信)  
緩和ケア医がステージⅣの大腸がんになって見えてきたこと  
演者：山崎 章郎(医療法人社団悠翔会ケアタウン小平クリニック名誉院長)  
座長：新田 國夫(日本臨床倫理学会理事長)
- 14:10~15:40 一般演題 10 アドバンス・ケア・プランニング  
座長：小川 朝生(国立がん研究センター東病院)
- 010-1 小児専門病院における組織的アドバンス・ケア・プランニングの取り組み  
演者：山口 大輔(あいち小児保健医療総合センター)
- 010-2 透析クリニックにおける ACP 普及活動  
演者：村田さとみ(医療法人社団東山会桜ヶ丘東山クリニック)
- 010-3 認知症患者の ACP  
演者：加藤 亙(日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院)
- 010-4 グリーフケアから学ぶ 地域包括ケアの実践  
臨床倫理四分割を活用した～ACP(アドバンスケア・プランニング)～  
演者：深田知洋江(特定非営利活動法人ゆうらいふ)
- 010-5 当院での POLST 指針作成及び運用報告  
演者：今泉 浩徳(名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院医事課)
- 010-6 事前指示と ACP に関する国際比較：事前指示の進歩を踏まえたわが国における論点整理の必要性  
演者：小川 朝生(国立がん研究センター東病院精神腫瘍科)
- 15:50~17:20 一般演題 12 臨床倫理の諸問題  
座長：萩野美恵子(国際医療福祉大学医学部)
- 012-1 意思決定と社会保障制度に関する一考察 — 介護殺人の検討から —  
演者：田中 武士(津市立三重短期大学)
- 012-2 高校生の課題研究でみる「脳死と臓器提供・移植」  
演者：杉谷 篤(同愛会・博愛病院腎臓外科)

- O12-3 「医療従事者の倫理的行動」の概念分析  
演者：中神 克之(名古屋女子大学健康科学部看護学科)
- O12-4 電子カルテのアクセス制限は必要か — 診療情報管理士の語りより —  
演者：鈴木みづほ(東海大学医学部基盤診療学系医療倫理学)
- O12-5 署名のない同意書をめぐる倫理的問題に関する組織的対応  
演者：三浦由佳里(宮崎大学医学部附属病院臨床倫理部)
- O12-6 新型コロナウイルス感染症5類移行後のリハビリテーション実施から感じた事 — リハビリテーションスタッフのアンケートを通して —  
演者：刑部 恵(浜松市リハビリテーション病院)
- O12-7 両側乳がんの手術同意について倫理的検討を行った統合失調症患者の一事例  
演者：横須賀響子(東京都立病院機構東京都立松沢病院内科)